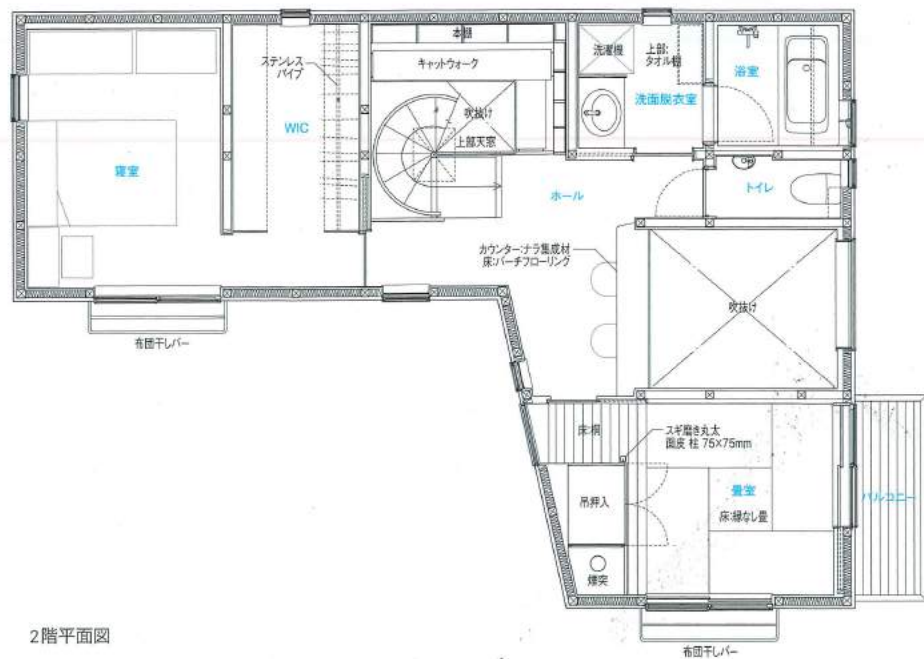


K夫妻の家

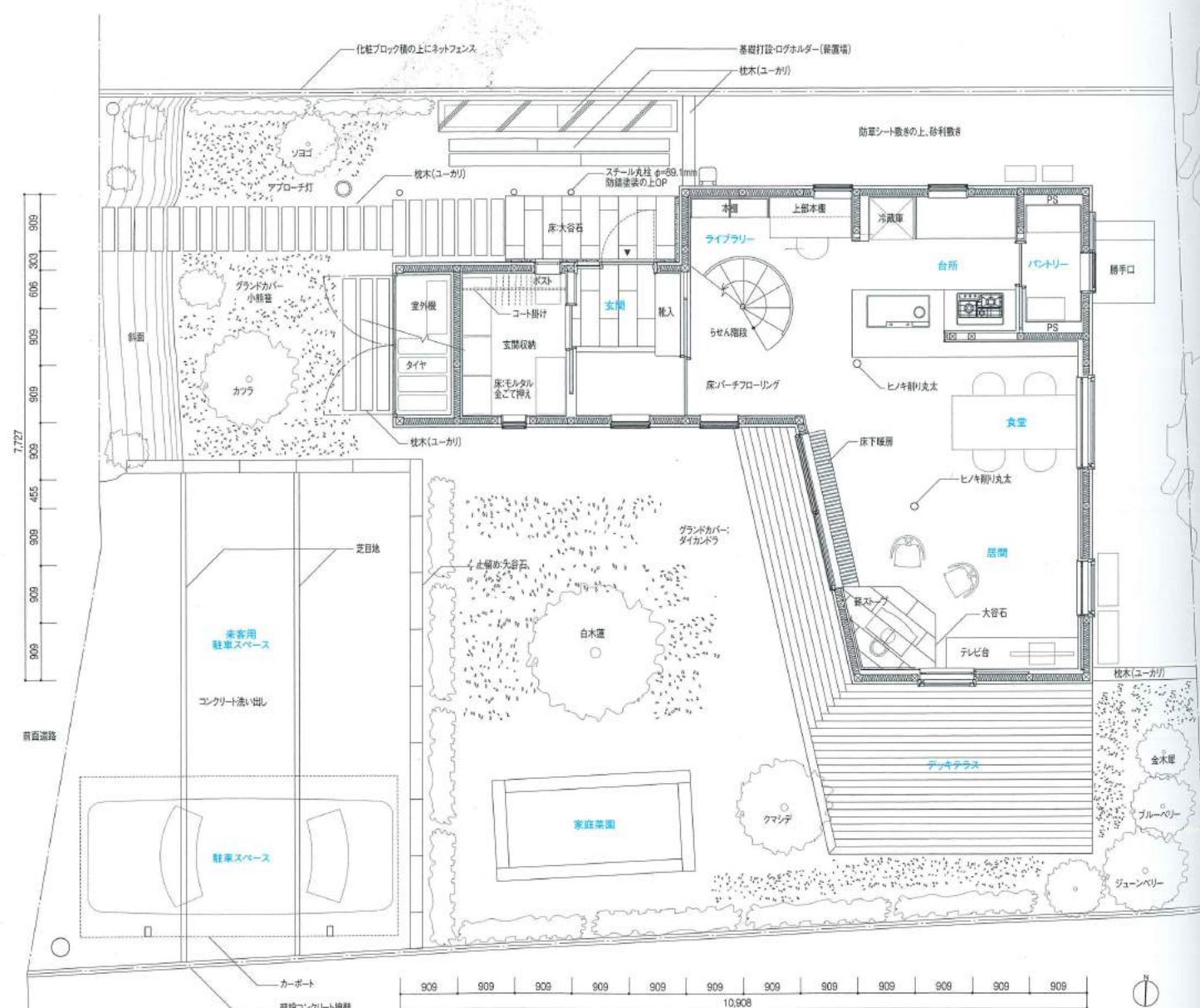
House for Mr. & Mrs. K
栃木県宇都宮市

中村好文／レミングハウス
Yoshifumi Nakamura / Lemminghouse

本棚に囲まれた吹き抜け空間を螺旋階段の木製手摺が渦巻きながら昇っていく。
トップライトから降り注ぐ自然光が前川秀樹の彫刻を浮かび上がらせる。



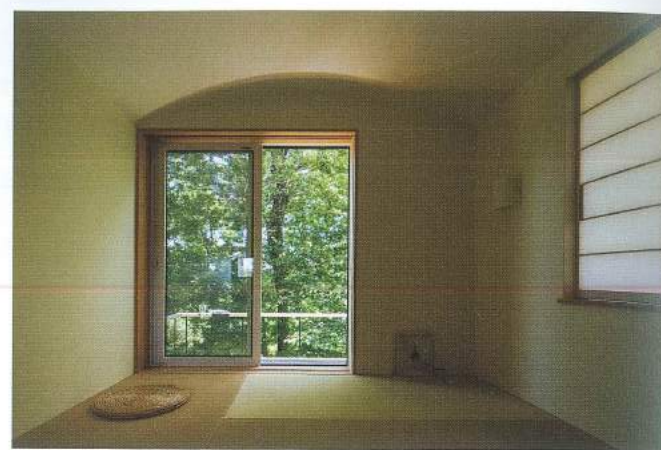
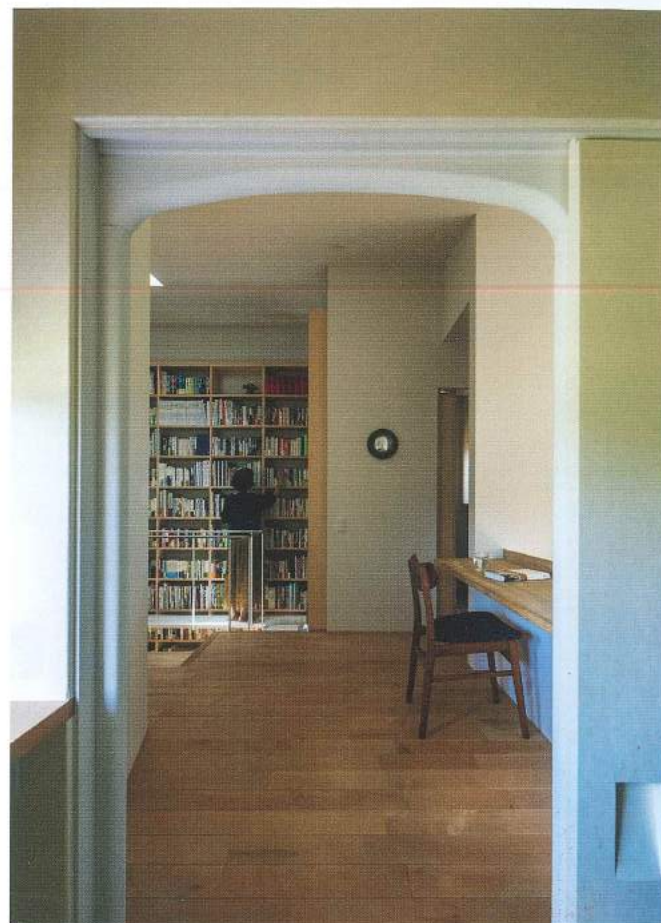
螺旋階段と本棚の間にあるライブラリーコーナー。一部書斎として、家事の合間に仕事ができる動線計画。



螺旋階段からの眺め。下の階は台所、食堂、居間へ、上の階はホールから居室へと空間の繋がりがうかがえる。

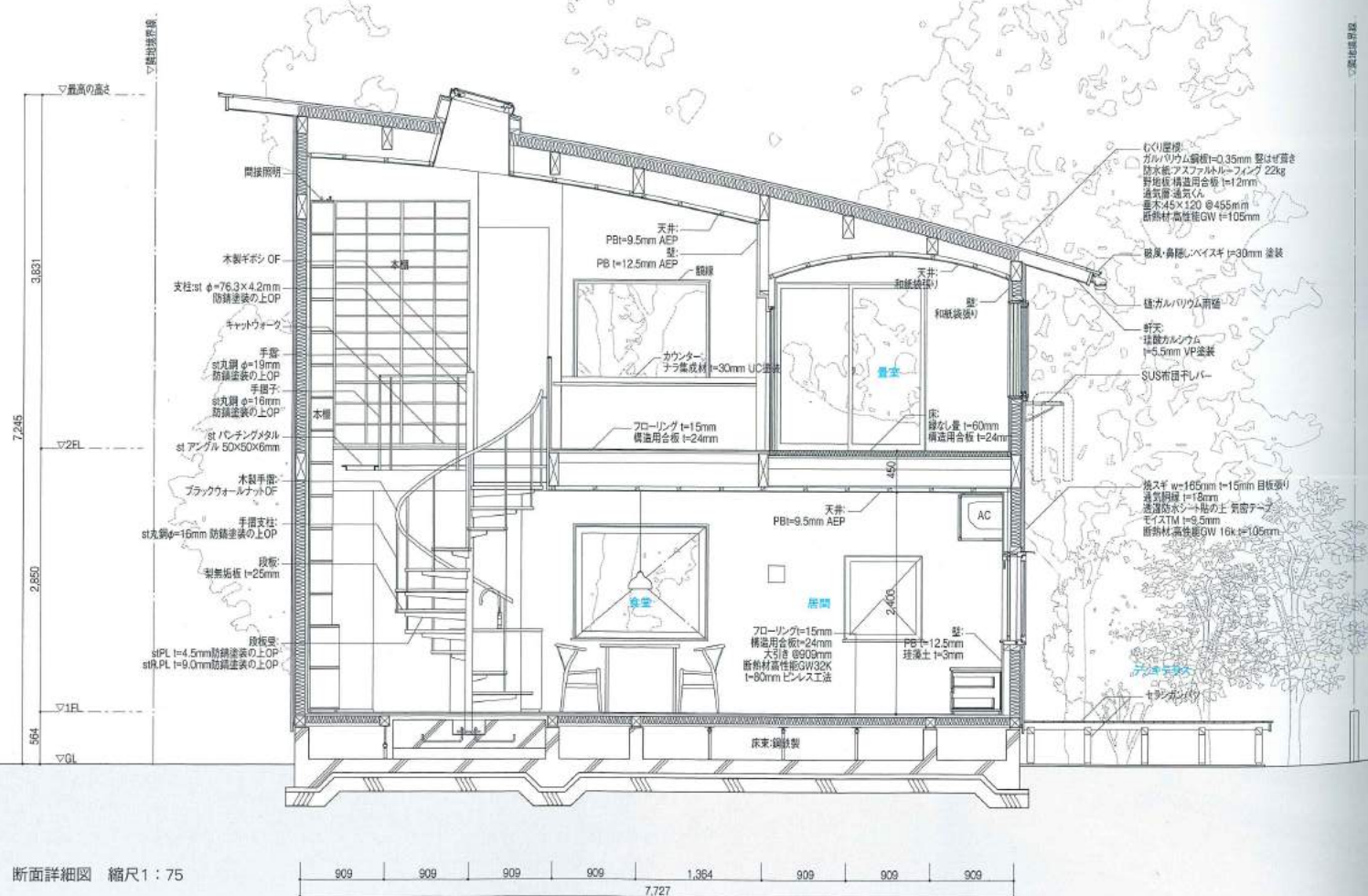


食堂のペンダントはハランサーで高さ調節できるオリジナルデザインのアームで吊り下げられている。台所と食堂の間の壁は絵画コレクションを飾るためのスペース。この家は高台にあるため、西向きに開き出しの開口部からは庭越しに空に抜けていく遠景を眺めることができる。



左：壁からホール越しに吹抜けの壁面全体につくり付けられた本棚を見る。右上：2階壁。壁面とポールの天井は和紙の袋張り。バルコニーに腰掛け、手摺りにもたれて雑木林と眼下に広がる風景を眺めることができる。右下：台所から居間を見る。将来、南側隣地に家の建つ可能性があるため控えめな開口部とし、東側（左手）と西側（右手）に開口部を設け、眺めと意識が東西に抜けるように計画されている。

ふたつの吹抜け回りに広がる多様な居場所



日常と非日常を架け渡す家

建主は人生を心ゆくまで楽しむ中年のご夫婦である。読書と美術と映画と音楽をこよなく愛し、料理に腕を振るい、お酒をたしなみ、カヤックやキャンプなどのアウトドアライフを満喫する。気の置けない友人たちとの食事と歓談のひと時を楽しむことも忘れない。一方で、仕事の上ではふたりとも余人を以て代えがたい要職にあり、平日は私なら「激務」と呼びたくなるような多忙な毎日を送っている。このふたりにとっての住まいは、単に日常生活が便利で支障なく営めるだけでは充分とはいえない。何をおいても日々の仕事の緊張から開放されて、鋭気と活力を養うための場所であればならないだろう。愛用の日用品はもちろんのこと、愛読書や蒐集した美術品に囲まれて心豊かに暮らしたいという思いは、送られて来た要望書（簡潔なコメント付きの写真集のように見事に編集された「要望書のお手本」ともいべきものであった）から読み取ることができた。

また、敷地が高台の恵まれた環境にあることを最大限に生かして、目の前に帯状に連なる広葉樹の木立とその先に広がる風景を思う存分眺めることができるようにすることも、要望書の行間から読み取ることのできる大切な課題だった。

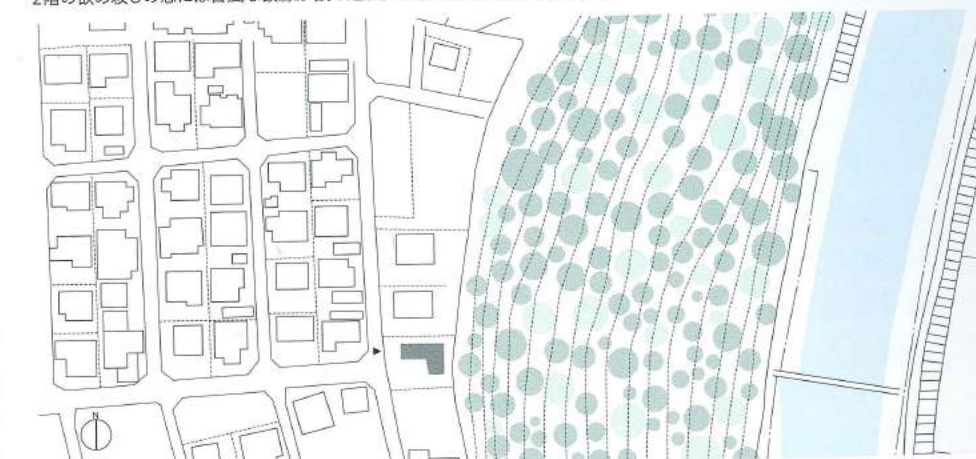
配置計画とL字型の構成は、最初に敷地を下見に訪れた際、草原だった敷地と周辺を歩き回っているうちに自然に頭の中に浮かび上がってきた。敷地と道路との関係、駐車スペース、方位、眺めの方向などを考え合わせると必然的に「こうなるしかない」と思ったのである。さらに、そのL字型の構成に部屋の用途を重ね合わせることでプランの検討を始めたのだが、この住宅には居間、食堂、台所と名付けられるスペースだけでなく、名指すことのできない気配を孕んだ特別な空間を現出させたいと思った。少々大げさに言えば、こうした空間を創案することはK夫妻が暗黙のうちに設計者の私に託した任務だったのである。

そしてありがたいことに、夫妻はその「特別な空間」を設えるためのヒントを要望書の中に散りばめておいてくれた。夫婦そろって澁澤龍彦やギュスターヴ・モロー、林海象やデヴィッド・シルヴィアンが好きだと知れば、夫妻のセンスと世界観を容易に思い描くことができる。そして、そうであれば自ずから空間のイメージは固まってこようというものだ。

本棚に囲まれた吹き抜け空間と蔓性植物のような木製手摺りを備えた螺旋階段、その空間を静かに見下ろす前川秀樹の彫刻を柔らかく包み込む天窓からの自然光などから、夫妻の頭の中を覗き込むような錯覚を覚える人がいたら、私の狙いはまずまず成功したことになる。（中村好文）



食堂の吹抜けの上下にピクチャーウィンドウが設けられており、東側の広葉樹の枝葉の緑を絵画のように室内に取り込んでいる。2階の嵌め殺しの窓には古風な額縁が嵌め込まれ、景色を絵画的に切り取る。



配置図 縮尺 1:2,000



庭から食堂越しに、東に広がる広葉樹林まで見通す。



豊かな緑の中に佇む建物の外壁は目板張りの焼スギ板で包まれている。僅かにむくりをつけた屋根が風景の中に柔らかな印象を醸し出している。

K夫妻の家

所在地／栃木県宇都宮市

主要用途／専用住宅

家族構成／夫婦

設計

レミングハウス

担当／中村好文 木村晁 木村彩

暖房設備 システムクリエイト 担当／中島廣文

外構・造園 レミングハウス

担当／中村好文 木村院 木村彩

施工

柴木材店 担当／斉藤尚文

木工 湯本建築 担当／湯本富夫・湯本正寿

鉄骨 松村製作所 担当／松村紀之

タイル 青木 担当／加園政博

左官 林左官 担当／林武一

塗装 広瀬塗装工業 担当／広瀬進

建具 貝塚建具店 担当／貝塚政利

内部家具 阿部木工 担当／阿部繁文 北奥一徳

内部家具(本棚) 湯本建築 担当／湯本正寿

電気設備 柴電気工事 担当／柴宏二

給排水衛生設備 植竹設備工業

担当／植竹孝

空調換気設備 岡田電気 担当／高橋亮

暖房設備(パネルヒーター) システムクリエイト

担当／中島廣文

暖炉 アルバイン薪ストーブ 担当／大橋善博

外構(大谷石) 石彫美術 担当／渡邊哲夫

外構(ウッドデッキ) 湯本建築

担当／湯本富夫 湯本正寿

造園工事 Weed 担当／森千秋

階段段板・木製手すり・照明ブラケット

楓林舎 担当／横山浩司

構造・構法

主体構造・構法 木造在来工法

基礎 鉄筋コンクリートベタ基礎

規模

階数 地上2階

軒高 6,171mm 最高の高さ 7,245mm



東側近景。畳室のベランダには腰掛けて風景を眺めるため足置きなどの工夫があり、木立の中に浮かぶように過ごせる。手摺りはガラスなども置けるよう、幅を80mmとしている。

敷地面積 237.43m²

建築面積 56.39m²
(建築率23.75% 許容60%)

延床面積 101.08m²
(容積率42.57% 許容200%)
1階 50.88m² 2階 50.19m²

工程

設計期間 2014年1月～9月

工事期間 2015年1月～8月

敷地条件

地域地区 法第22条地域 市街化調整区域

道路幅員 西6m 駐車台数 1台(+予備1台)

外部仕上げ

屋根／ガルバリウム鋼板 壁はぜ葺き

外壁／焼スギ板張り

開口部／木製サッシ(アイランドプロファイル)

アルミサッシ(YKK AP) 天窓(日本ベルックス)
外構／大谷石敷き 枕木敷き コンクリート洗い出し

内部仕上げ

玄関

床／大谷石敷き

壁／PB t=12.5mm AEP

天井／PB t=9.5mm AEP

造作家具／靴入れ(阿部木工)

キッチン

床／バーチ無垢材フローリング t=15mm

壁／耐水PB t=12.5mm AEP 150mm角タイル

天井／PB t=9.5mm AEP

洗面機器／

ガスコンロ／ハーマン DW35F2JKST

ビルトインオーブン／ハーマン DR514CST

レンジフード／パナソニック スマートスクエア
アフード FY-7HZC4-S

シンク水栓金物／CERA KW0151102

造作家具／キッチン(阿部木工)

食堂 居間 階段室 2階ホール

床／バーチ無垢材フローリング t=15mm

壁／PB t=12.5mm 珪藻土塗り

天井／PB t=9.5mm AEP

造作家具／テレビ台(阿部木工) 本棚(湯本建築)

寝室

床／バーチ無垢材フローリング t=15mm

壁／耐水PB t=12.5mm AEP

天井／PB t=9.5mm AEP

トイレ 洗面 脱衣所

床／バーチ無垢材フローリング t=15mm

壁／耐水PB t=12.5mm AEP

天井／PB t=9.5mm AEP

造作家具／洗面化粧台 トイレ棚(阿部木工)

便器／TOTO ネオレストAH1 CES9787W

壁掛手洗器／TOTO LSH90BAPT

洗面器／CERA GA6001

洗面用水栓金物／CERA HG31612R

浴室

床／バスタブ／TOTO ハーフバス

壁／100mm角タイル

天井／ヒノキ縁甲板

シャワー水栓金物／TOTO TMGG40ECR

バス換気乾燥機／三菱電機 V-241BZ

畳室

床／縁なし畳敷き

壁・天井／和紙袋張り

設備システム

空調 暖房方式／輻射暖房(パネルヒーター) 薪ストーブ

冷房方式／ルームエアコン

給排水 給水方式／上水道直結方式

排水方式／下水道直結方式

給湯 給湯方式／ガス給湯器

撮影／新建築社写真部